

連携型中高一貫教育に係るアンケート調査

結果と考察

平成24年3月

神石高原町教育委員会

目 次

ページ

I. 中 学 生 編	1 ~ 5
II. 小・中学校保護者編	6 ~ 12
III. 高 校 生	13 ~ 17

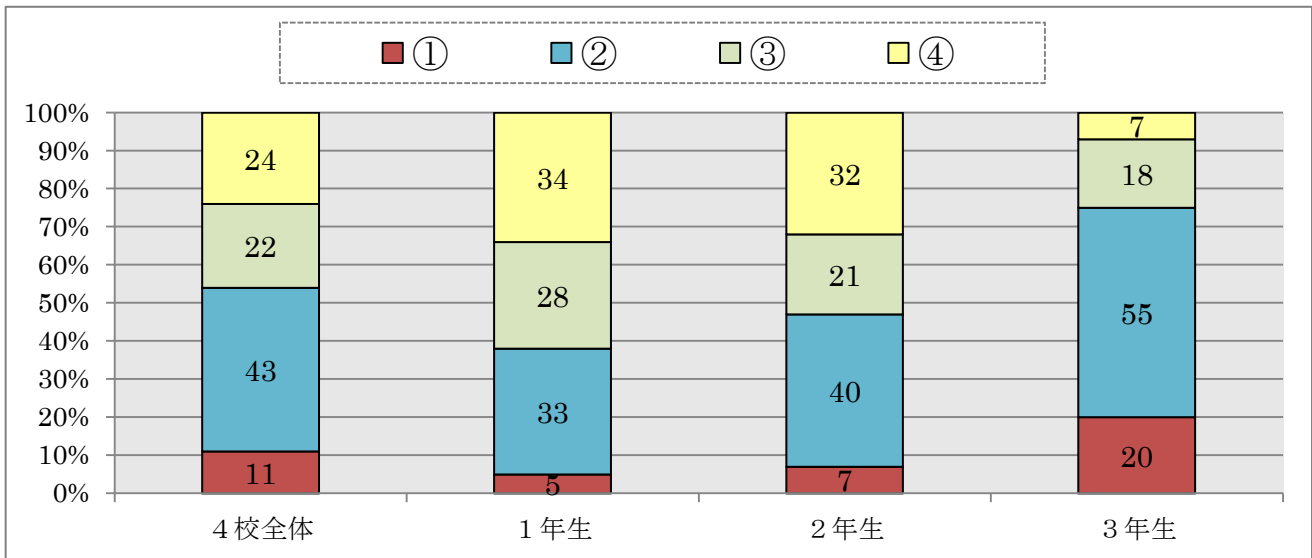
調 査 人 数

1. 中 学 生	<u>調査人数 215人</u> / 在籍者数 223人
2. 小 学 校 保 護 者	<u>調査人数 199人</u> / 対象児童数 214人
3. 中 学 校 保 護 者	<u>調査人数 180人</u> / 生徒総数 223人
4. 高 校 生	<u>調査人数 183人</u> / 在籍者数 200人

I. 連携型中高一貫教育に係るアンケート調査（中学生）の結果と考察

1 神石高原町連携型中高一貫教育のことについて聞いたことがありますか？

① よく聞いている ② 少し聞いたことがある ③ あまり聞いたことがない ④ 全然聞いたことがない



1 △ 全体では、約半数の生徒が聞いたことがある。（半数は聞いたことがない）

○ 学年が上がるごとに「聞いたことがある」生徒が多い。

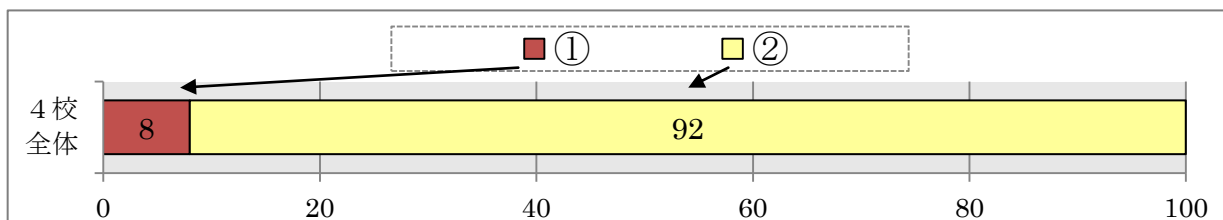
● 1・2年生は50～60%の生徒が聞いたことがない。

● 3年生の7%が全然聞いたことがない。

進路学習などで、「神石高原町連携型中高一貫教育」のことについて、少しずつでも生徒に情報提供していく必要がある。

2 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル」を見たことがありますか。

① ある ② ない



2 ● 「見たことがない」生徒が圧倒的に多い。（92%）

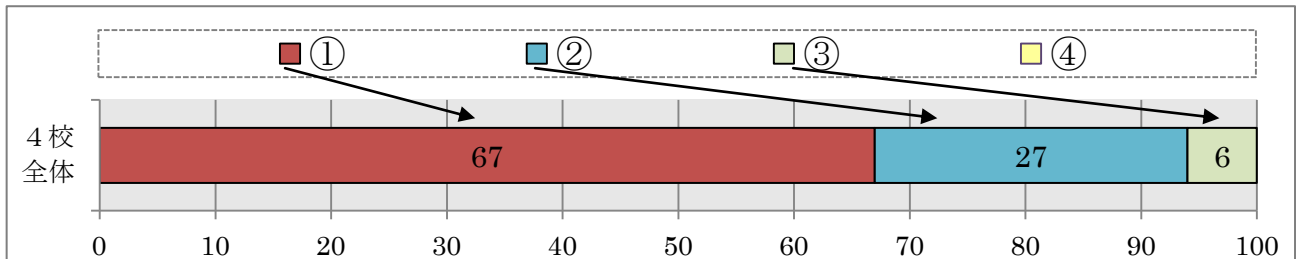
町内全戸へ配布されているが、生徒はあまり見ないようである。よって、今後は学校を通して、全生徒にも直接配布するようにする。（学校での進路学習の材料にもしてもらう）

③ 油木高校の先生や生徒さんから指導してもらったり、一緒に活動してどうでしたか？

「どんなことをしましたか？」

部活動（49） オープンスクール（37） 英語講座（23）
出前授業（10） 進路説明会（25）

① とてもよかった ② よかった ③ あまりよくなかった ④ 全然よくなかった



- ③ ・ 「どんなことをしましたか？」の問いで、実際にはもっと多くの生徒が経験済みでありながら、無記入の生徒が多い。（油高体験入学は3年生全員(78人)、3年生の進路説明会には全校実施、英語講座(27人)、出前授業など）
- 90%以上の生徒が好感をもっている。
 - 約70%の生徒が「とても良かった」と感じている。

今後もできる範囲で、継続・発展させていく必要がある。（無理のない中で、中高共に効果のある中身づくりをしていく必要がある。）

④ 油木高校との中高連携で、今後どんなことをやってみたい（やっていったらよい）と思いますか。

*（ ）内は人数

部活・スポーツ（40） 授業(勉強)をしたい（33） 文化祭・体育祭などの行事（17）
産業ビジネス科との活動(ナマス・養蜂)（12） 高校生活全般(体験入学)（5）
奉仕活動（4） 先生又は生徒の出前授業（4） 合唱（1） 町をアピールする活動（1）

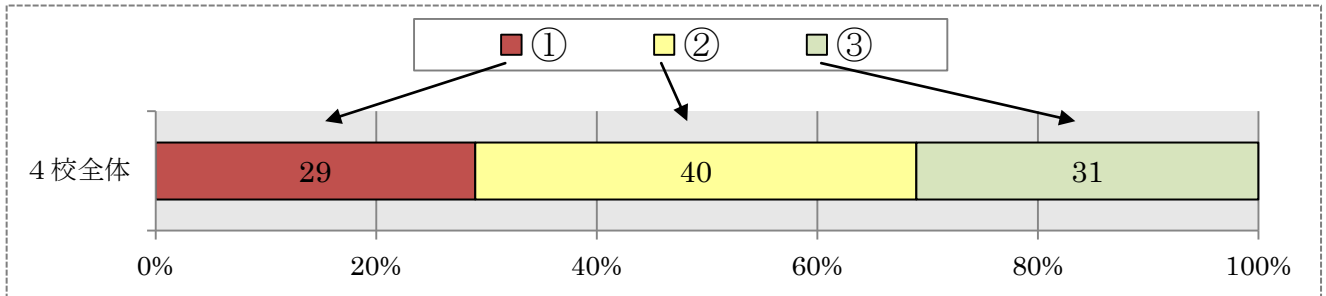
- ④ ・ 多くの生徒が高校生との「部活動」を望んでいる。
・ 体験入学も含めて「高校の授業」を望んでいる。

中学生の要望も検討しながら、実現できるものから徐々に実践化していく。（中高各々の土壌づくり（理解・関心・雰囲気づくり）が必要）

5 (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

<4校全体では>

① 思う ② わからない ③ 思わない



(2) 「① 思う」と答えた人で、その理由は何ですか？ ⑨：()内は人数です。

- | | | | |
|---------------|--------------|----------------|--------------|
| ① 通学に便利 (50) | ② 自分の希望 (34) | ③ 親・家族の薦め (23) | ④ クラブ活動 (19) |
| ⑤ 教育内容面 (12) | ⑥ 友人関係 (9) | ⑦ 進学・就職に有利 (7) | ⑧ 寮がある (6) |
| ⑧ 施設設備がよい (6) | ⑨ 通信衛星授業 (4) | | |

(3) 「③ 思わない」と答えた人で、その理由は何ですか？ ⑨：()内は人数です。

- | | | | |
|----------------|--------------|---------------|--------------|
| ① 高卒後の進路面 (23) | ② クラブ活動 (16) | ③ 希望学科なし (14) | ④ 教育内容面 (13) |
| ⑤ 施設設備面 (11) | ⑥ 通学が不便 (9) | ⑦ 友人関係 (9) | ⑧ 他校希望 (9) |

(4) 「② わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択で重要視したいことは何ですか？ ⑨：()内は人数です。

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|--------------|
| ① 通学便 (55) | ② クラブ活動 (47) | ③ 教育内容 (34) | ④ 進路実績 (33) |
| ⑤ 友人関係 (28) | ⑥ 親・家族の薦め (20) | ⑦ 伝統校風 (19) | ⑧ 施設設備面 (12) |

5 ● 4校全体では油木高校への進学を「希望する生徒」と「しない生徒」の割合がほぼ同じ（約30%）で、希望生徒が50%を大きく下回っている。

- ・ 油木高校「進学希望」生徒の理由 — 1位：通学に便利，2位：自分の希望（心強い），3位：親・家族の薦め（低学年ほど多い）
- ・ 油木高校「進学希望しない」生徒の理由 — 1位：高卒後の進路面（学校規模<油木高校>における進路実績をアピールしていく必要がある），2位：クラブ活動（小規模校の良さや油高生の声を伝えていく）3位：希望学科なし（仕方ない）
- ・ 油木高校への進学希望が「わからない」生徒の進路選択重要度 — 1位：通学便（よりスムーズな通学便の確保ができるとうい），2位：クラブ活動，3位：教育内容面

油木高校への進学希望が「わからない」生徒の割合（40%）が一番高いだけに、しっかりとアピールしていく必要がある。

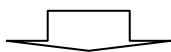
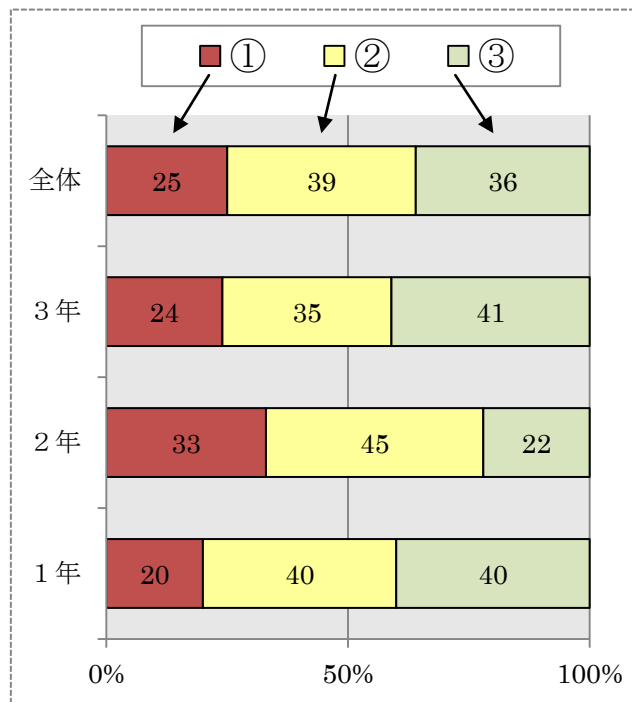
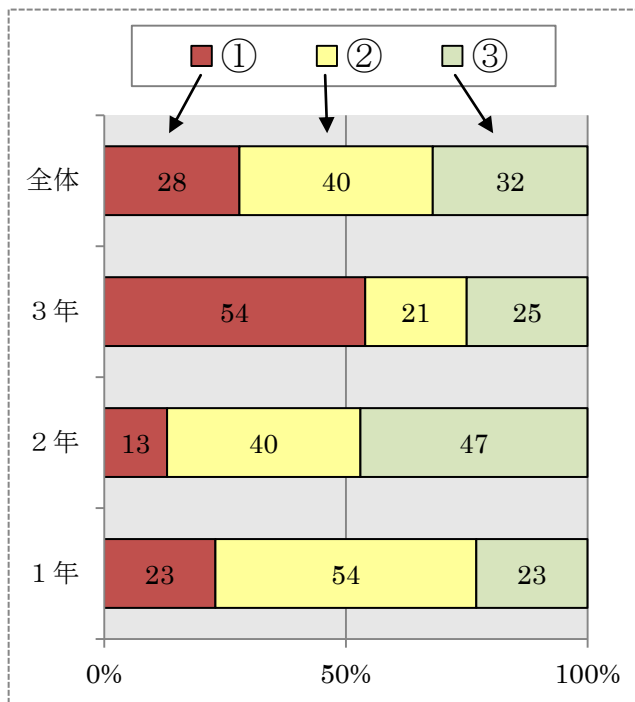
<各学校ごとでは>

(1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

① 思う ② わからない ③ 思わない

< 三 和 中 >

< 神 石 中 >



(2) 「① 思う」と答えた人で、その理由は何ですか？ ⑨：()内は人数です。

①通学に便利(25) ②自分の希望(18) ③教育内容
面(8) ④親・家族の薦め(8) ⑤クラブ活動(8)

①通学に便利(8) ②自分の希望(4) ③友人関係(4)
④親・家族の薦め(3) ⑤クラブ活動(3)

(3) 「③ 思わない」と答えた人で、その理由は何ですか？ ⑨：()内は人数です。

①高卒後の進路(13) ②教育内容(8) ③他校希望(8)
④クラブ活動(7) ⑤希望学科なし(7) ⑥施設設備(5)

①通学が不便(4) ①高卒後の進路(4)
③友人関係(3) ④クラブ活動(3)

(4) 「② わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択で重要視したいことは何ですか？ ⑨：()内は人数です。

①通学便(29) ②クラブ活動(23) ③教育内容(19)
④友人関係(19) ⑤進路実績(12) ⑥親家族の薦め(10)

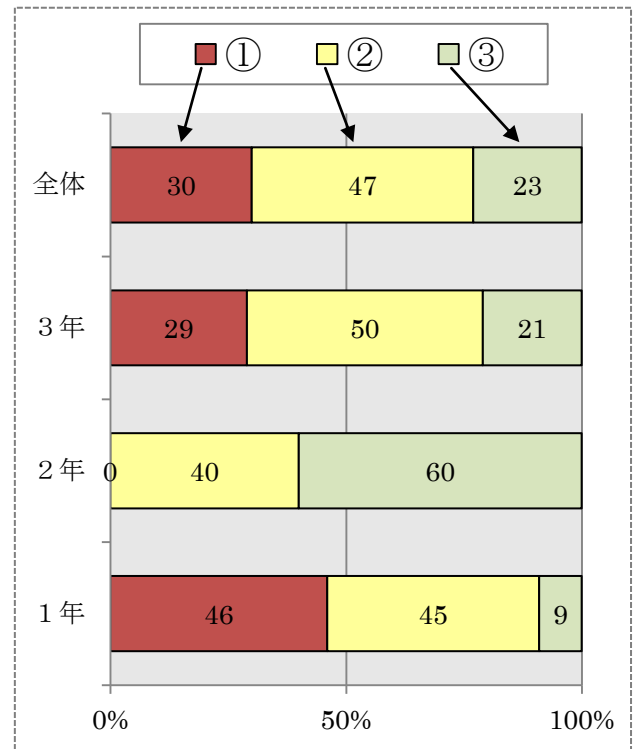
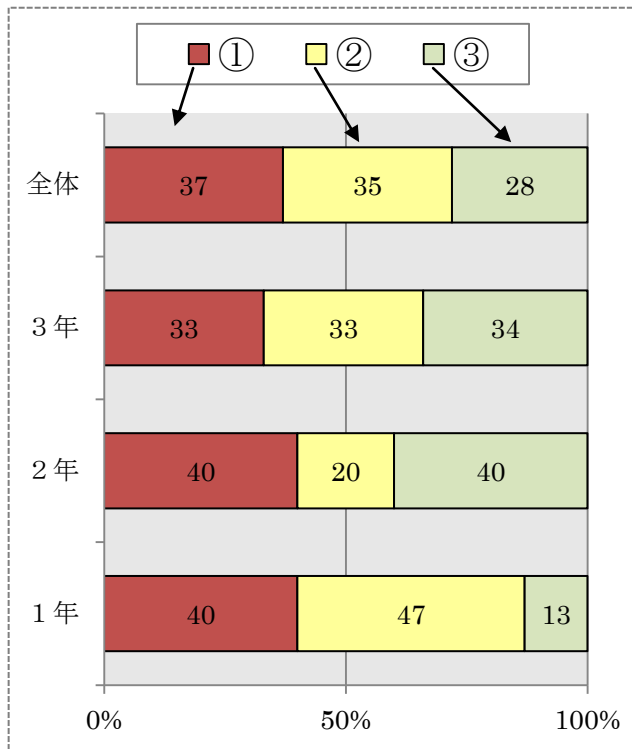
①通学便(10) ②クラブ活動(8) ③進路実績(5)
④親や家族の薦め(5) ⑤教育内容(4) ⑥施設設備(4)

(1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

① 思う ② わからない ③ 思わない

< 油 木 中 >

< 豊 松 中 >



(2) 「① 思う」と答えた人で、その理由は何ですか？ ⑨：()内は人数です。

- ①通学に便利(13) ②自分の希望(10)
- ③親・家族の薦め(6) ④クラブ活動(5)

- ①親・家族の薦め(6) ②通学に便利(4)
- ③クラブ活動(3) ④自分の希望(2)

(3) 「③ 思わない」と答えた人で、その理由は何ですか？ ⑩：()内は人数です。

- ①クラブ活動(5) ②希望学科なし(5) ③教育内容(8)
- ③ ③施設設備(3) ③高卒後の進路面(3)

- ①高卒後の進路面(3) ②希望学科なし(2)

(4) 「② わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択で重要視したいことは何ですか？ ⑪：()内は人数です。

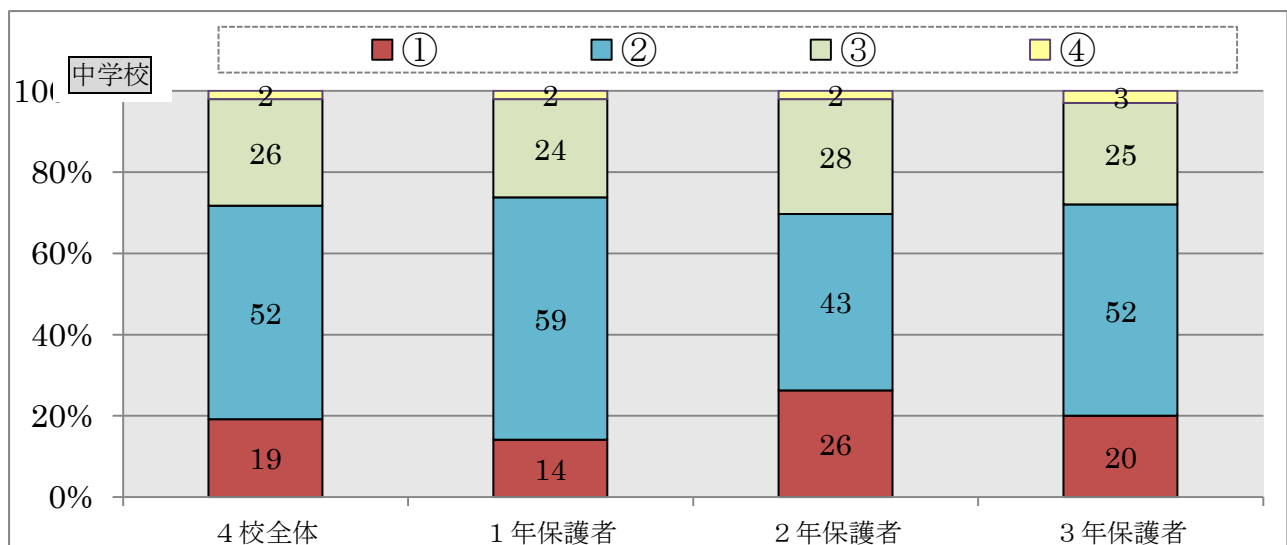
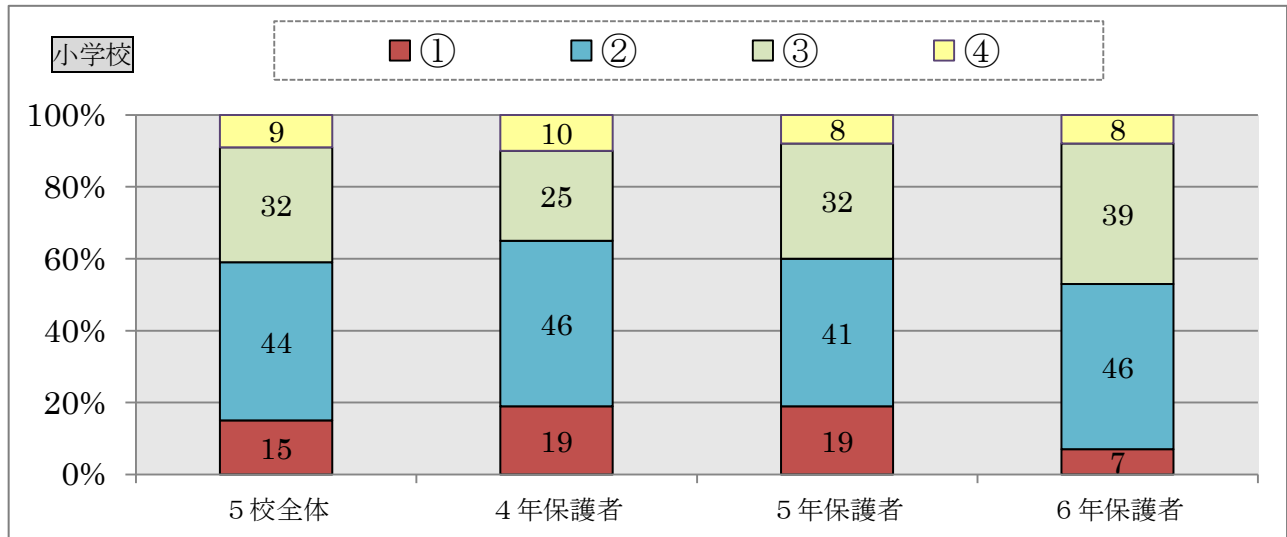
- ①通学便(9) ①進路実績(9) ③クラブ活動(8)
- ④教育内容(6) ⑤伝統校風(5)

- ①クラブ活動(8) ②通学便(7) ②進路実績(7)
- ④教育内容(5) ⑤友人関係(4)

Ⅱ.連携型中高一貫教育に係るアンケート調査(小・中学校保護者)の結果と考察

1 神石高原町連携型中高一貫教育について関心がありますか。

① 強い関心がある ② 少し関心がある ③ あまり関心がない ④ 全然関心がない



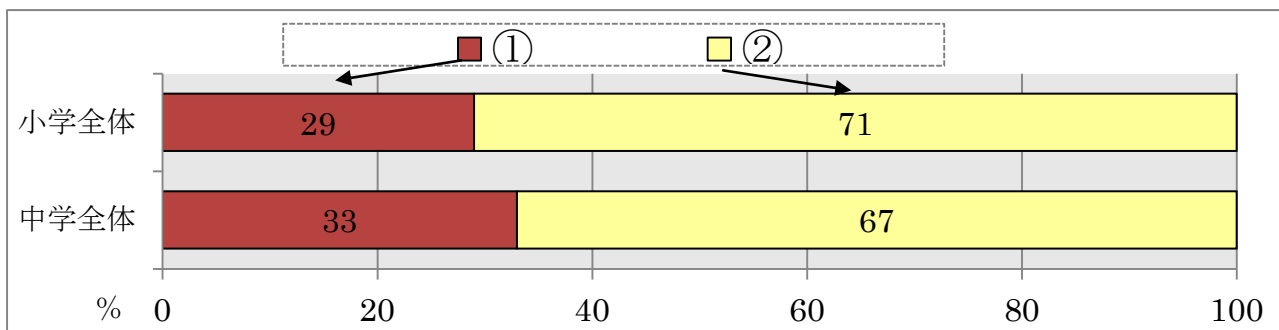
- 小
- ・ 全体では約60%が「関心がある」との肯定的回答であるが、中学校保護者(71%)より10%低い。
 - ・ 学年別では、多少(約10%)ではあるが、低学年ほど関心度が高い。

連携型中高一貫教育の本格実施年度を平成26年度と設定しているが、現小学校4~6年生が中学1~3年生となるだけに、保護者の関心を高めていく必要がある。

- 中
- 全体では約70%が「関心がある」で、その中の約20%が「強い関心がある」は、心強い。
 - ・ 関心度は学年による差はあまり見られない。

保護者の関心を高めていくためにも、徐々に中高一貫教育の成果を積み上げていき、そのことをしっかりと情報提供していく努力が必要である。

2 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル」を見たことがありますか。 ① ある ② ない



小 ● 「見たことがある」が29%と低率である。

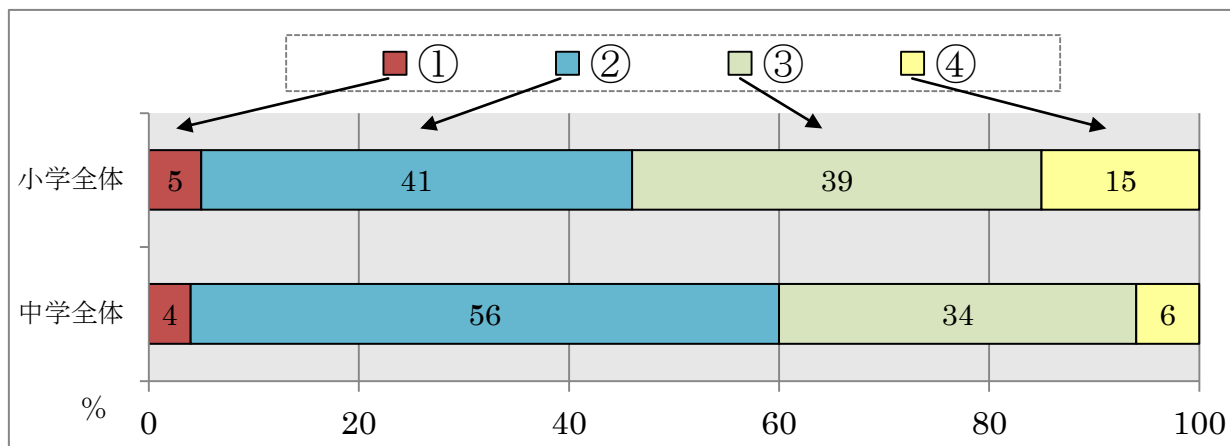
町内全戸へ配布されているが、あまり見られていない。今後一層魅力ある広報紙づくりと継続性が必要である。

中 ● 「見たことがある」が33%しかないのは残念である。

今後もいろいろなマスコミを活用して、情報提供を継続していく必要がある。

3 本町がめざしている連携型中高一貫教育について知っておられますか。

① よく知っている ② 少し知っている ③ あまり知らない ④ 全然知らない



小 ▲ 「知っている」肯定的回答率46%と5割を切っており、中学校保護者(60%)より低率である。

● 「全然知らない」が15% (29人) と非常に多い。

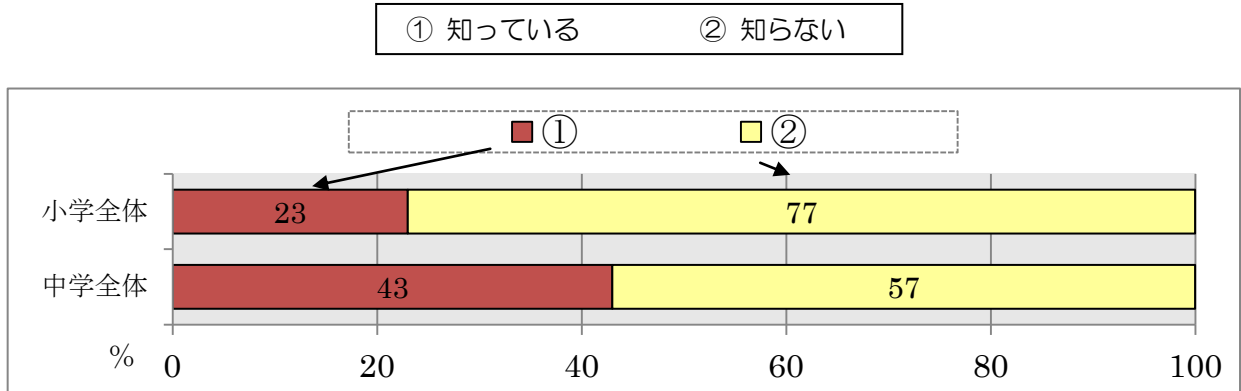
情報提供の工夫と継続を図りながら取り組んでいく必要がある。

中 △ 「知っている」肯定的回答率60%と半数以上であるが、100%へ徐々に近づけていく必要がある。

● 中学校保護者で「全然知らない」が6% (11人) は残念である。

前記の小学校と同じように、情報提供の工夫と継続を図りながら取り組んでいく必要がある。

4 本町が油木高校の教育活動推進や保護者負担軽減のために助成(HSJ 事業への補助金)していることを知っていますか。



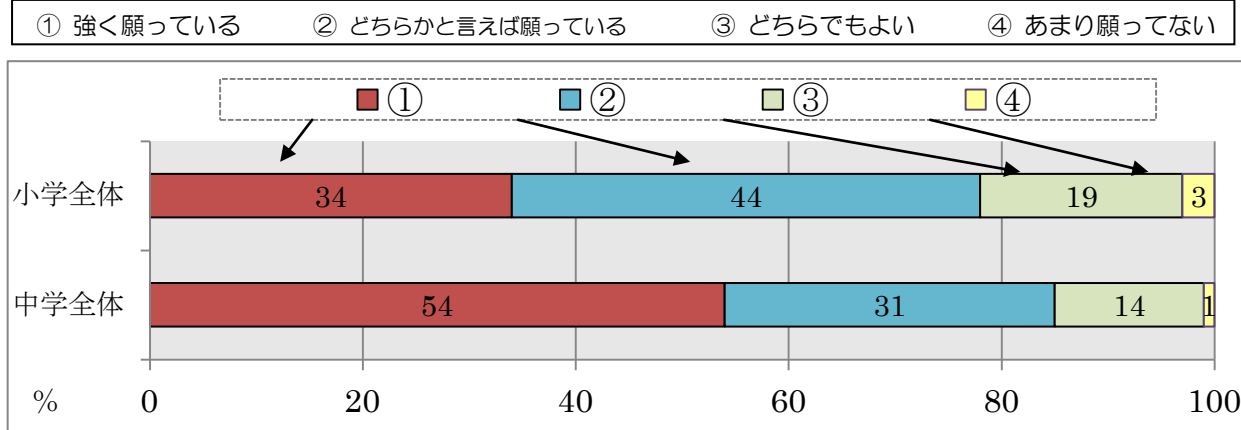
小 ● 「知っている」が23%と非常に少ない。

今後も重ねて情報提供していく必要がある。特に教育推進の向上や保護者の経費負担軽減につながっていることをアピールしていく必要がある。

中 ● 「知っている」が43%と非常に少ない。

今後も支援の中身を情報提供しながら、教育推進の向上や保護者の経費負担軽減にもなっている有利性をアピールしていく必要がある。

5 「油木高校の存続」について、どのように思われていますか。



小 ○ 油木高校の存続を「願っている」肯定的回答率は78%で、中学校保護者(85%)より低い、大半の者が願っている。

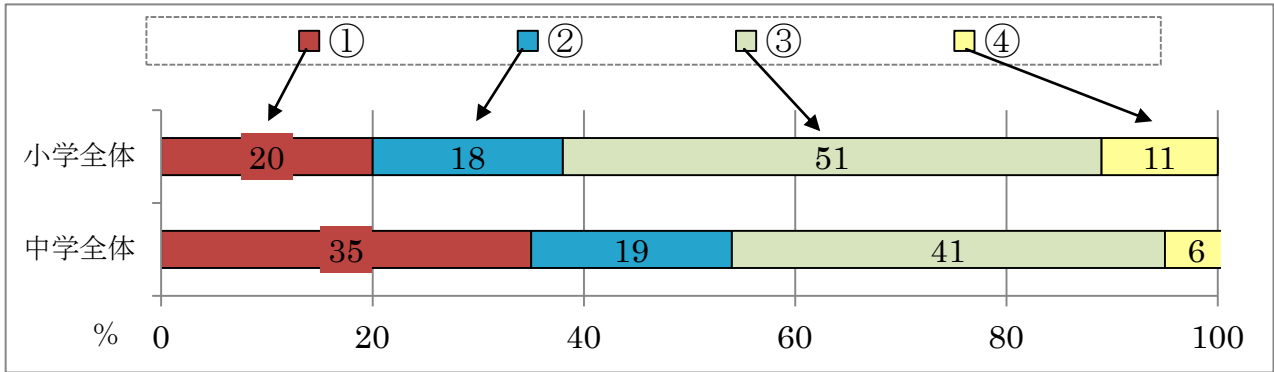
保護者の大半が存続を願っていることを重く受け止め、取組み(支援体制づくり・教育の中身づくり)を推進していく必要がある。

中 ○ 油木高校の存続を「願っている」肯定的回答率が85%で、その中の54%が「強く願っている」は大変心強い。

保護者の多くが「存続を願っている」ことを重く受け止め、着実な取組み(支援体制づくり・教育の中身づくり)をしていく必要がある。

6 あなたの子どもさんを油木高校に進学させたいと思いますか。

- ① 入学させたい ② どちらかと言えば入学させたい ③ わからない ④ 入学させたくない



小

- 全体的には、保護者の「入学させたい」肯定的回答率 38%と低率である。
- 「入学させたくない」が 11%と中学校保護者(6%)より多い。
 - ・ 「わからない」回答率が 51%と多いが、小学校段階では仕方のないことかもしれない。

「わからない」が半数だけに、今後の取組みによって「油木高校へ入学させたい」と思われるような魅力づくりを創造していく必要がある。

中

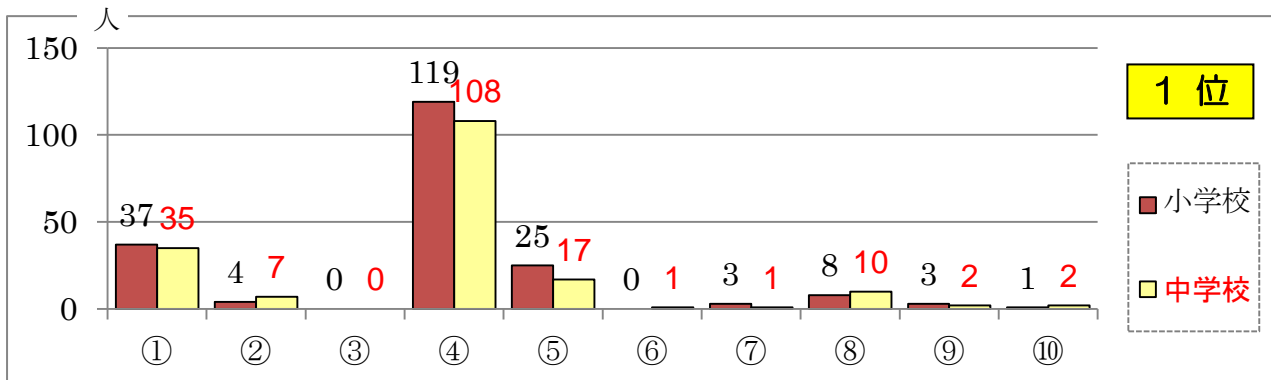
- 全体的には、保護者の「入学させたい」肯定的回答率 54%であるが、中学生徒の油木高校入学希望率 29%と比較すると、かなりの差(約 20%)がある。
- ・ 学年別では、「入学させたい」肯定的回答率は概ね 50~60%台であるが、神石中の 37%と低いのは、通学便によるものと思われる。
- ・ 「入学させたくない」回答率は概ね 10%以下で、取組みによっては入学率の増大が期待できる。

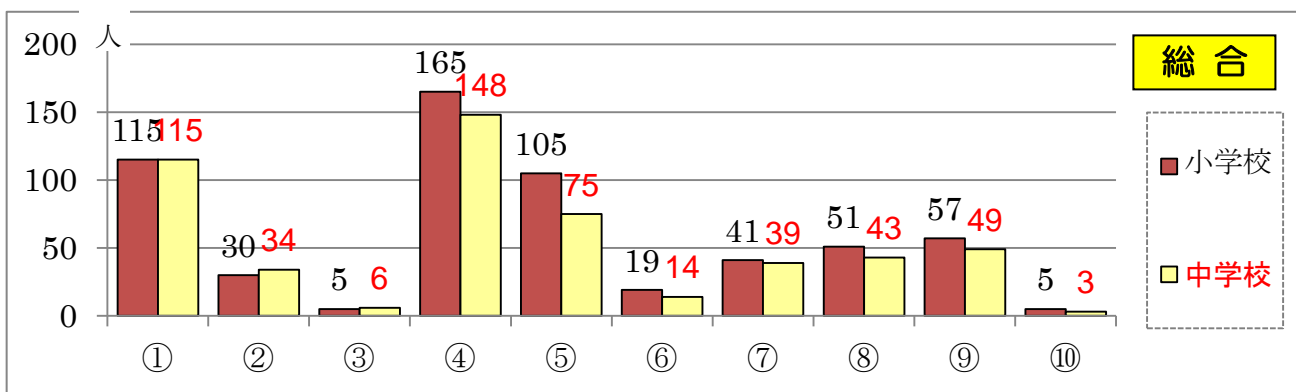
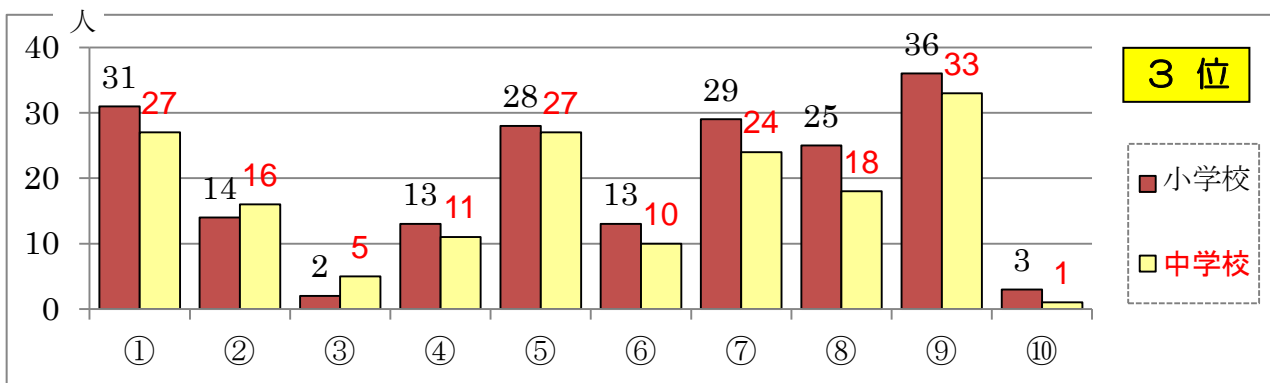
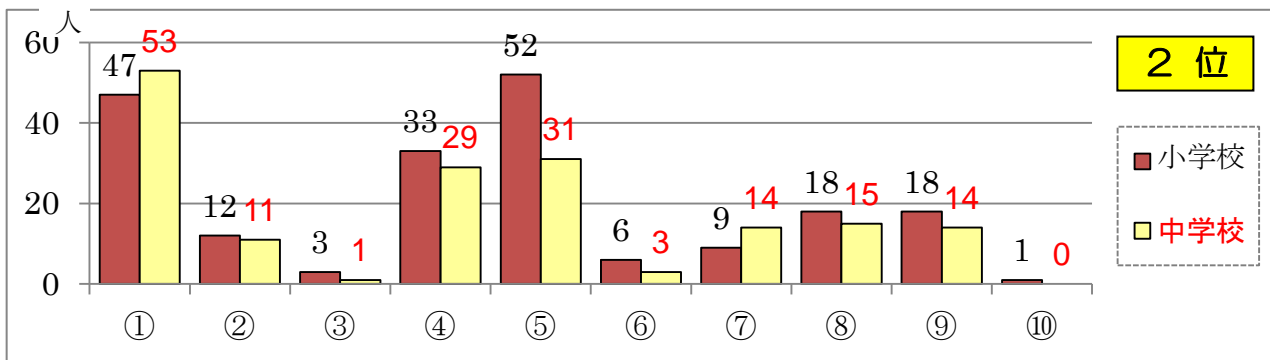
「わからない」回答率が 30~50%台を占めており、「どちらかと言えば入学させたい」も含めて、保護者が入学させたくないような魅力づくりを推進協議会や支援会議を中心として取り組んでいく必要がある。

7 子どもの高校進路選択をする上で、保護者として重要視したいことはどんなことですか。

下の①~⑩の中から重要視したい順番に3つ(1位・2位・3位)選んでください。

- ① 通学便 ② 伝統や校風 ③ 親や家族の薦め ④ 子ども本人の希望 ⑤ 教育内容面
⑥ 施設設備面 ⑦ クラブ活動面 ⑧ 進路実績 ⑨ 経費面 ⑩ その他





- 小
- ・ 全体的な保護者の進路選択重要度は、①「子ども本人の希望」②「通学便」③「教育内容面」④「経費面」⑤「進路実績」の順である。
 - ・ 順位別では、1位は小中学校とも圧倒的に「子ども本人の希望」が多く、2位は「教育内容面」「通学便」が少差で多く、3位は「経費面」「通学便」となっている。

小・中学校保護者ともに「子ども本人の希望」が圧倒的に多いだけに、児童・生徒への理解や関心を深めていく必要がある。

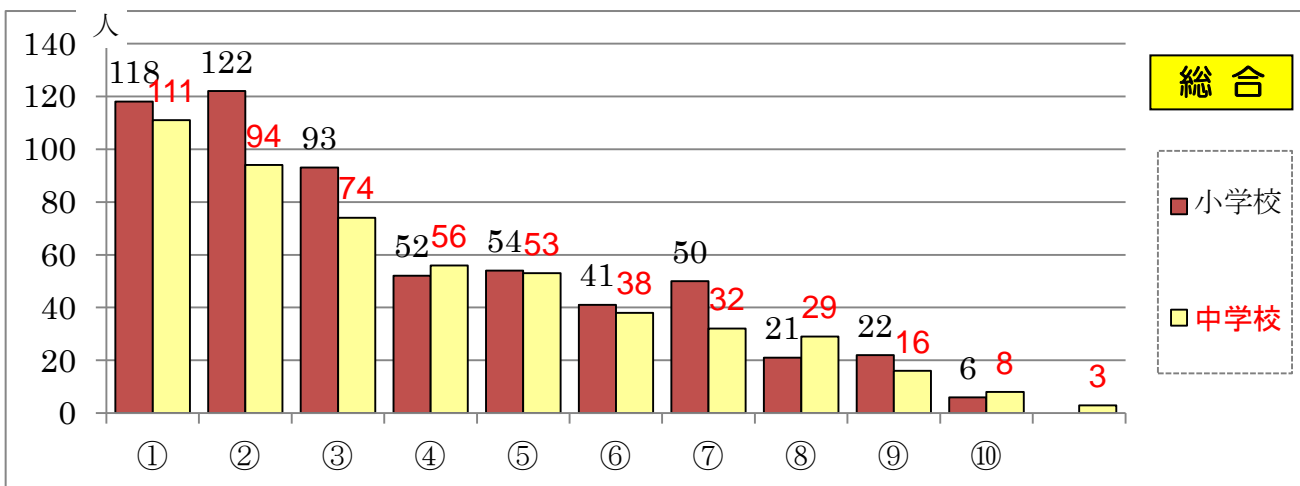
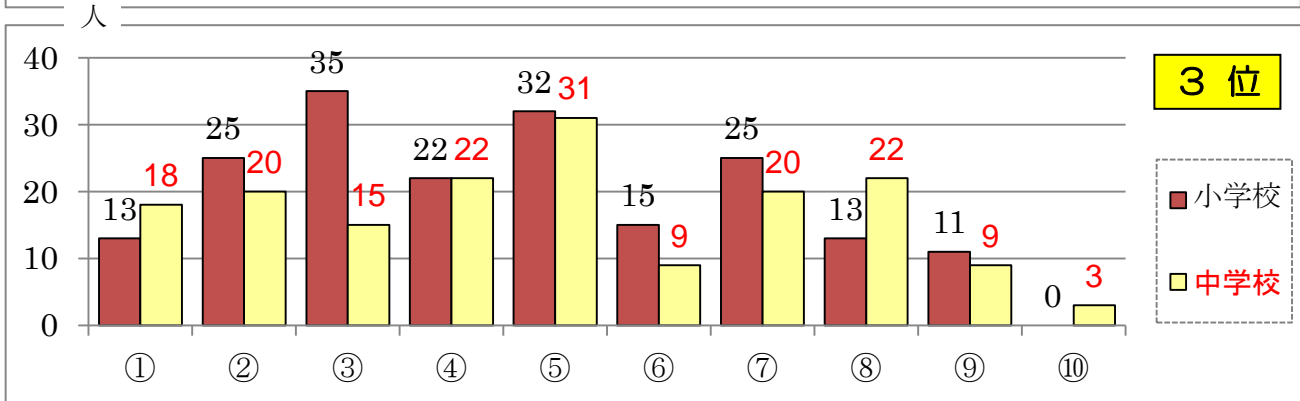
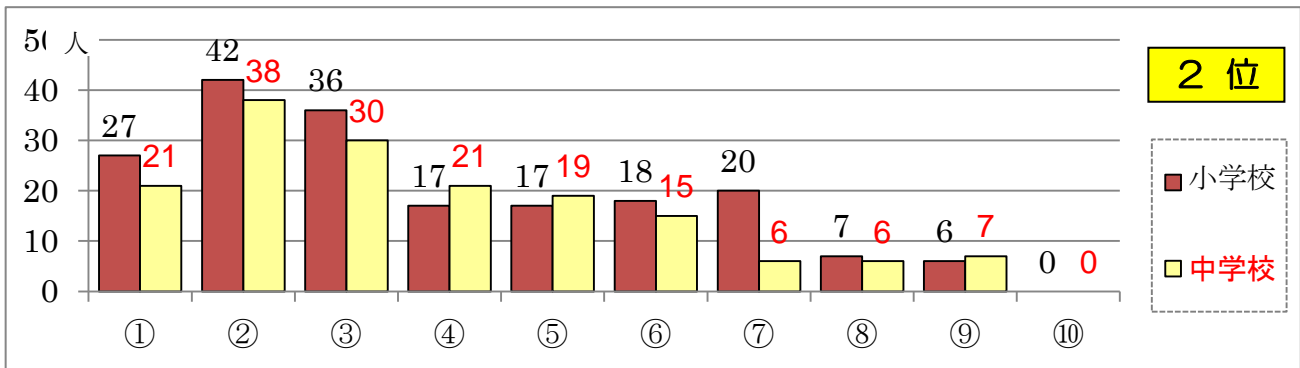
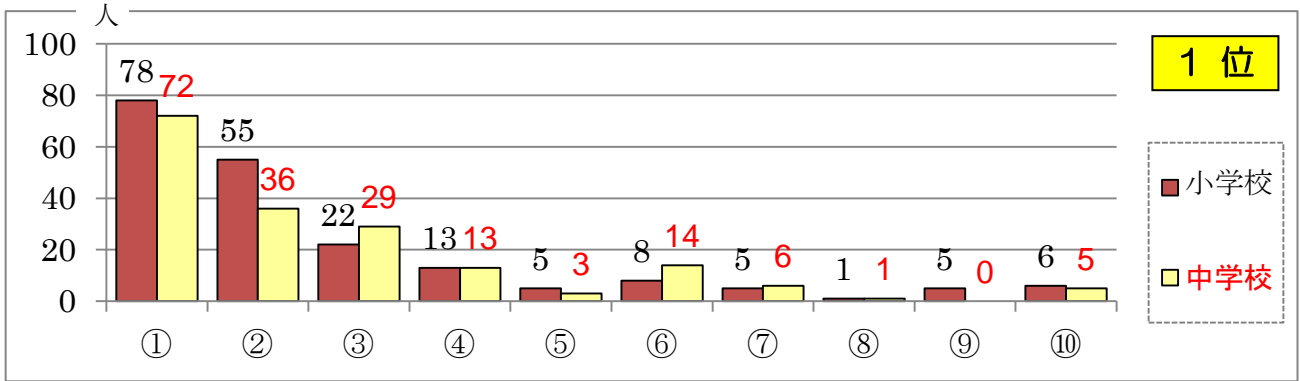
- 中
- ・ 全体的な保護者の進路選択重要度は、①「子ども本人の希望」②「通学便」が他と比して非常に高く、続いて③「教育内容面」④「経費面」⑤「進路実績」の順で、小学校保護者と全て同じである。
 - ・ 順位別では、1位は小中学校とも圧倒的に「子ども本人の希望」が多く、2位は「通学便」、3位は「経費面」が最も多い。

保護者の多く（約60%）は「子ども本人の希望」を最優先にする傾向にあり、生徒へ油木高校の魅力をしっかりと伝えて、理解や関心を深めていく必要がある。

8 油木高校の一層の魅力づくりとして、必要なことは何だと思えますか。

下の①～⑩の中から必要度の高い順番に3つ(1位・2位・3位)選んでください。

- ① 特色ある教育の推進 ② 学力充実への支援策 ③ 進路実績 ④ 生徒指導の充実 ⑤ クラブ活動の充実
 ⑥ 通学費の援助 ⑦ 校内施設設備の充実 ⑧ 寮の整備 ⑨ 奨学金制度の創設 ⑩ その他



小

- ・ 高校の魅力づくりとして、全体的には ①「学力充実への支援策」、少差で②「特色ある教育の推進」、そして、③「進路実績」の三つが他を大きく離してベスト3で、④「クラブ活動の充実」⑤「生徒指導の充実」⑥「校内施設設備の充実」が少差で続いている。
- ・ 順位別では、1位が「特色ある教育の推進」、2位が「学力充実への支援策」、3位が「進路実績」とそれぞれトップが多い。

保護者としての高校教育への期待は、小・中学校保護者ともに「教育の特色づくり」と「学力の充実」にあると思われる。

その期待に応えられるような中高連携教育の中身づくりをしていく必要がある。

中

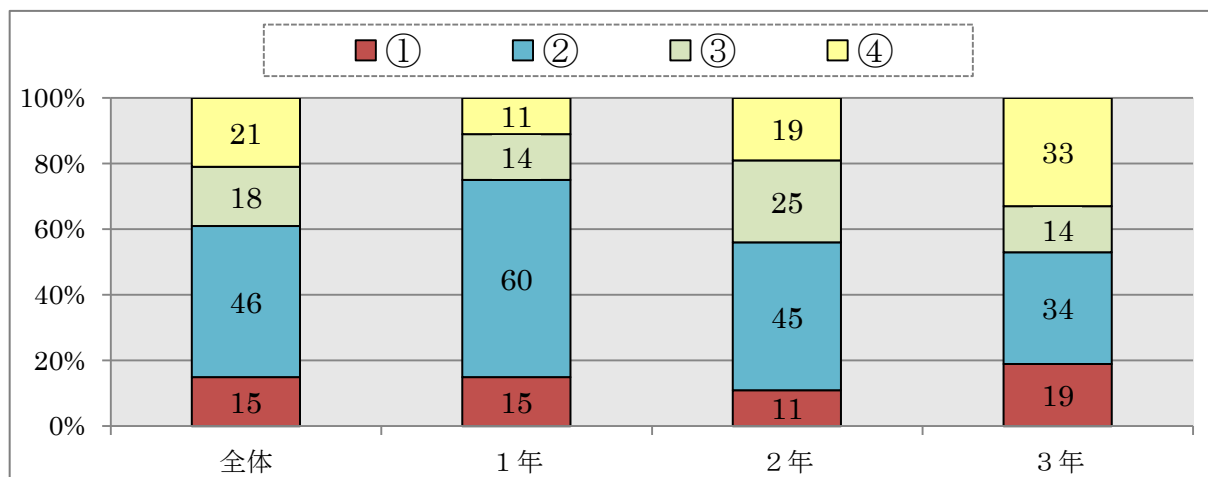
- ・ 高校の魅力づくりへの保護者の願いとしては、全体的には ①「特色ある教育の推進」、②「学力充実への支援策」、③「進路実績」、④「生徒指導の充実」の順にあげることができる。
- ・ 順位別では、1位は圧倒的に「特色ある教育の推進」で、2位が「学力充実への支援策」、3位が「クラブ活動」とそれぞれトップが多い。

保護者の思いとしては、高校魅力づくりのポイントに「教育の特色づくり」と「学力の充実」を望んでおられる。中高連携教育の中身づくりもその点を留意して取り組んでいく必要がある。

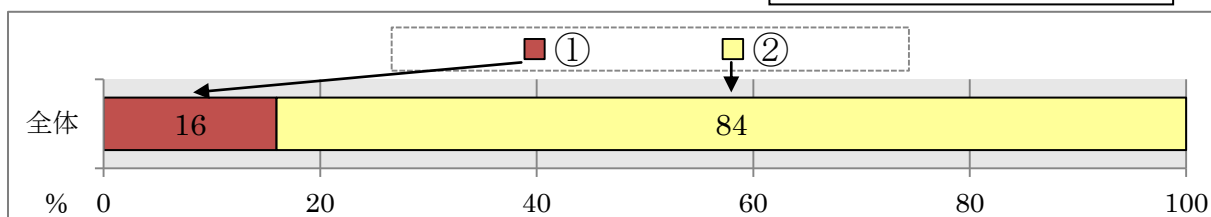
Ⅲ. 連携型中高一貫教育に係るアンケート調査（高校生）の結果と考察

① 神石高原町連携型中高一貫教育のことについて聞いたことがありますか？

① よく聞いている ② 少し聞いたことがある ③ あまり聞いたことがない ④ 全然聞いたことがない



② 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル」を見たことがありますか。 ① ある ② ない



考察 広報紙「連携型中高一貫教育ジャーナル」を見たことのない生徒が圧倒的に多いため、今後できるだけ高校生にも配布して、関心を高めていく必要がある。

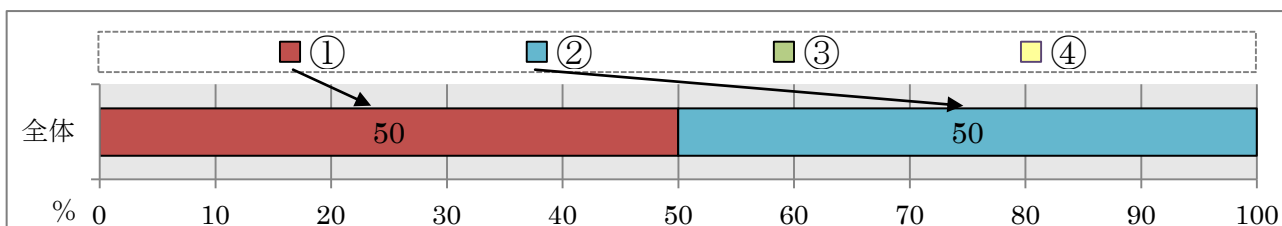
③ (1) あなたは本年度、中高連携で町内の中学生を指導したり、一緒に活動したことがありますか。

「ある」と答えた生徒 12人(7%)で、その内容は

- ・部活動
- ・オープンスクール
- ・出前授業（றிリフター）

(2) (1)の質問で「①ある」と答えた人で、それはどうでしたか。

① とてもよかった ② よかった ③ あまりよくなかった ④ 全然よくなかった



考察 中高連携実践は、中高生共に大多数の生徒が好感をもっており、今後できるだけ実践の機会を増やしていけるように努めていく必要がある。特に部活動交流を中心として取り組んでいく。

④ 郡内中学生との中高連携で、今後どんなことをやってみたい（やっていったらよい）と思いますか。

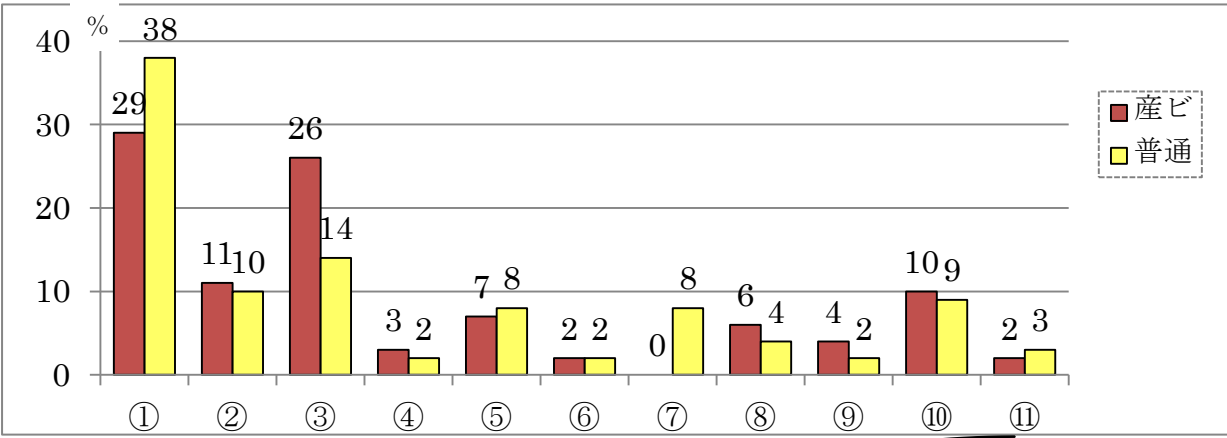
* 複数回答は以下の通りで、()内は人数

・学園祭・体育祭などの文化的・体育的行事 (19)	・合同学習・勉強会 (14)
・部活動 (14)	・出前授業や農業体験学習 (5)
	・学科体験学習 (3)
	・奉仕活動 (4)

考察 生徒の提案も参考にしながら、今後できる範囲（無理のない・中高共に効果のあるもの）で継続・発展させていく必要がある。

⑤ あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。（複数回答可）

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|-----------|
| ① 自宅から近い | ② 親・家族の薦め | ③ 自分の希望 | ④ 教育内容面 |
| ⑤ クラブ活動面 | ⑥ 寮がある | ⑦ 通信衛星授業がある | ⑧ 進学就職に有利 |
| ⑨ 評判 | ⑩ 友人関係 | ⑪ その他 | |



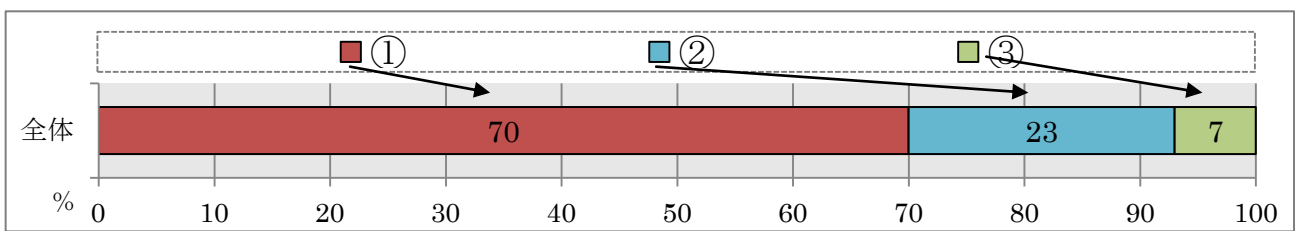
⑪ 「その他」の内容

- ・経費面が少ない (2)
- ・学科に興味があった (2)
- ・行事面に興味があった (2)
- ・自分の学力に相應 (2)

考察 産ビ・普通科共に最も多かったのは、「自宅から近い」で、地元高校を是非とも存続させていく必要がある。

⑥ 高校生活で不便さを感じていることはありませんか。

- | | | |
|--------------|-----------|------------|
| ① まったく感じていない | ② 少し感じている | ③ 大いに感じている |
|--------------|-----------|------------|



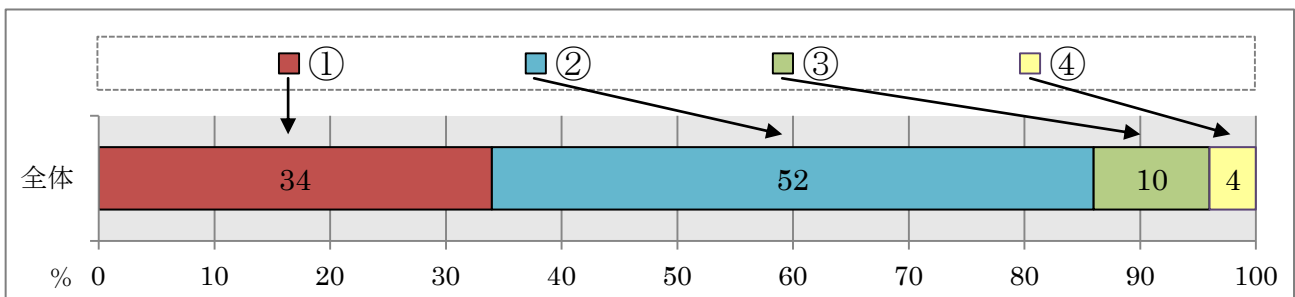
- 「② 少し感じている → どんなことですか?」 * ()内は人数
- ・空調設備が悪い（寒い）(12)
 - ・通学に不便（バスの本数・バス時間・バス満車・経費負担）(12)
 - ・エレベーターがない (3)
 - ・各階に男女トイレがない (2)
 - ・店が少ない (2)
 - ・休日に寮がない (1)

- 「③ 大いに感じている → どんなことですか？ * () 内は人数
 - ・寒い(3) ・通学に不便(交通手段が少ない)(3) ・生徒指導上(先生への反抗・規則)(2)
 - ・教育面(授業中騒がしい・非常勤講師制度)(2) ・休日に寮がない(1)
 - ・環境整備面(教室ドア)(1) ・上下関係があまりない(1)

考察 70%の生徒が不便さを「まったく感じていない」ようであるが、大なり小なり不便さを「感じている」中身のうち、本町としてできることはないか検討していく必要がある。

7 通信衛星授業を受けてみての感想はどうですか？ [受講回答者 81 人 (普 : 63 人 , 産ビ : 18 人)]

- ① 大いに役に立つ ② 少し役に立つ ③ あまり役に立たない ④ 全然役に立たない



- 「① 大いに役に立つ」理由として記入されていたものは
 - ・説明が分かりやすい ・すごく分かりやすい ・とても重要なことを教えてもらえる
 - ・解き方を教えてもらえる ・授業でやった内容をより分かりやすく学習できる
 - ・授業の復習や予習ができ、より理解が深まる ・大学に行くためには役に立つ
 - ・センター試験対策に役立つ ・模試などで高得点がとれるようになった
 - ・苦手な教科の力が付く ・教科によってとても役に立つ

- 「② 少し役に立つ」理由として記入されていたものは
 - ・授業で分からなかった所が分かった ・授業の予習などができるので、授業の時分かりやすい
 - ・授業で習った所を更に詳しく教えてもらえる ・授業の復習ができ、習ってないことも学べる
 - ・数学とか役に立つ ・町に出なくても塾の授業が受けられる ・進学に向けた授業だから
 - ・丁寧だから ・わかりやすい ・授業の補強になる ・分からなくても記憶に残る
 - ・時々速くてついていけない ・時々時間が長くて集中力が続かなかったりすることがある
 - ・大学進学で役に立つから

- 「③ あまり役に立たない」理由として記入されていたものは
 - ・今はそう思うだけかもしれないが、授業にあまり影響しない
 - ・学校と進度が違い過ぎて、学校で学習した方が理解できる ・学校で習った事ばかり出てくる
 - ・習ってないところから始まった ・うるさい時がある ・ビデオだから先生に質問できない

- 「④ 全然役に立たない」理由として記入されていたものは ありませんでした。

考察 受講生の多くは普通科生で、多くの生徒（86％）が「役に立つ」という肯定的回答であった。前記の間5からも分かるように、普通科生の選択理由に「通信衛星授業がある」ことを上げている者が多い。これらの理由から普通科がある以上、この事業は続けていくことが必要であると考え。

8 (1) 油木高校の魅力は何だと思えますか？

- ・生徒数が少ないので指導が行き届き、勉強に身を入れようと思えばいくらでも入れられる
- ・授業が濃い
- ・少人数で集中しやすい
- ・先生と生徒が近い（仲が良い）
- ・先生に質問しやすい
- ・個性的な先生たち
- ・通信衛星授業が受けられる
- ・進学率が高い
- ・油木高校からも大学へ十分に行ける
- ・産業ビジネス科が全国で活躍し、科内が充実している（ナマズ、蜂蜜、農業クラブなどの取組み）
- ・農業関連の学習能力が高く、成果が大きい
- ・たくさんの賞を受賞している
- ・色々なことに積極的
- ・良い成績を収めるすごい先輩がいる
- ・物事に一生懸命取組めるところ
- ・協力的で団結力がある
- ・みんなが挨拶をする
- ・生徒自ら行動し、良い環境づくりができる
- ・学校がきれい
- ・地域の人のつながりが多い
- ・町からの支援が素晴らしい
- ・町内唯一の高校で自宅から近い
- ・部活と勉強の両立ができる
- ・環境が良くて、農業や部活など色々なことが充実している
- ・小規模校だからクラス、学年の枠を超えて仲が良い
- ・人間関係がとて素晴らしいところ
- ・歴史が長い
- ・楽しい行事
- ・部活が充実
- ・生徒が明るい、笑顔、素直、優しい
- ・楽しく、全部好き

(2) その魅力を外部に伝える方法として、どんな方法がよいと思えますか？

- ・学校ホームページの充実（写真や動画を掲載して学校の様子をどんどんアピールする）
- ・垂れ幕
- ・かがやきネットの活用
- ・テレビ、新聞等メディアを活用してのPR
- ・学習発表会の開催
- ・色々な賞に応募して賞をとる
- ・学校パンフレットの充実
- ・結果を出す
- ・進学面で頑張る
- ・地道に努力
- ・もっと良い学校になること
- ・オープンスクールの回数を増やす
- ・いろんな中学校へ生徒が出向いてアピールする
- ・学校行事へ多くの人に来てもらえるように宣伝する
- ・通信衛星授業を中学生や保護者に実際に見てもらい魅力を知ってもらう
- ・油木高校についての講演会
- ・学校便りみたいなものを定期的に発行して、地域の回覧板で回してもらう（毎月町広報に掲載している）

考察 油木高校生が直に感じている「油木高校の魅力」を今後も大切にしていってもらいながら、それぞれの組織（支援会議・中学校・高校などを中心に）が、その中身を中学生や保護者そして地域へ、色々な機会・方法を通して、しっかりと伝えていく必要がある。

⑨ 油木高校の魅力アップ対策で必要なことは何だと思いますか。考え付くものを上げてください。

- ・学力を上げる
- ・自分たちが日々の学習にしっかり励み、少しでも上を目指す
- ・通信衛星授業の継続
- ・少人数でもっと集中しやすい環境を作る
- ・資格や検定をたくさん実施し、全校生徒に受けやすくする
- ・数学や英語のような2展開授業で、どちらにも指導の充実を図って全体のレベルを上げる
- ・優秀な指導力のある先生をもっと迎える
- ・国立大の合格者を増やす
- ・プロジェクト発表の継続
- ・制服身だしなみをしっかり整える
- ・あいさつ
- ・礼儀正しさ
- ・努力、やる気、元気、根気
- ・生徒一人一人がもっとしっかりした意識をもつ（生活態度・勉強面・部活動面など）
- ・頑張っている姿
- ・勉強に集中できる環境を作る（授業妨害への対策）
- ・油木高校を愛する気持ち
- ・地域との交流
- ・地域のために頑張る
- ・地域と連携して、地域を活性化させるようなプランをたてる
- ・町内や近隣の中学校との交流やアピールをしっかりとしていく
- ・プロジェクト発表を一緒に見たりして、もっと中学生などに高校の活動を伝えていくべき
- ・他の高校にない(できない)活動や新しいチャレンジ
- ・産ビ、普通科共にレベルアップを図り、実力を残す（全国規模の活躍）
- ・制服や体操服等の改善
- ・学校、寮を大きく、きれいにして環境を整える
- ・校内設備の充実（暖房など）
- ・トイレ、寮の改築
- ・学校をきれいにする
- ・校舎の清掃と修繕
- ・売店の設置
- ・有名人やスポーツ選手を呼びなどして話題性を作る
- ・HP等で油木高校の魅力をアピール（楽しそうな学校生活の紹介）
- ・もっとTVに出る
- ・ナマズ、蜂蜜の宣伝
- ・積極的な行事活動やイベントの規模の拡大
- ・原付通学の検討

考察 列記された中身を、それぞれの関係組織で検討し、有効と思われることを取り入れ、実行に移すよう努める。